

競技注意事項

1 本大会は、令和7年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会規則及び監督会申し合わせ事項により行う。

2 招集について（招集所は100m スタート地点横 スタンド下倉庫）

- (1) チェック開始時間から招集完了時間までに競技者係からアスリートビブス・名前・スパイクピンのチェックを受ける。チェック後は競技役員の指示に従う。
- (2) 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

| 競技種目 | 招集開始時間 | 招集完了時間 |
|---------|----------|----------|
| トラック競技 | 競技開始30分前 | 競技開始20分前 |
| フィールド競技 | 競技開始50分前 | 競技開始40分前 |

- (3) 招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。ただし他競技種目に出場中の競技者は、代理人が申し出ること。
- (4) リレーのオーダー用紙は招集所で配付する。各学校は、競技開始60分前までに招集場所へ提出すること。

3 組み合わせ・走路・試技順

- (1) レーン順・競技順は、主催者が決定しプログラムに記載する。
- (2) トラック競技の決勝とフィールド競技の試技順は、本大会本部の抽選により決定する。
- (3) 予選がある種目については、タイムレース予選の全体上位8名を決勝進出者とする。ただし、1000分の1秒まで計測し、同タイムの場合は抽選により決定する。

4 走高跳のバーの上げ方について

| 種別 | 練習 | 試技 |
|----|-------|-------------------------------|
| 男子 | 105cm | 110cmから5cmきざみ160cmまで 以後3cmきざみ |
| 女子 | 100cm | 105cmから5cmきざみ140cmまで 以後3cmきざみ |

※バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

5 ハードル競技のインターバルについて

| 性別 | 種目距離 | ハードルの高さ | インターバル | | | |
|----|-------|---------|-----------|-------|-------------|--------|
| | | | スタートから1台目 | ハードル間 | 最終ハードルからゴール | ハードル台数 |
| 男子 | 110mH | 91.4cm | 13.72m | 9.14m | 14.02m | 10台 |
| | 100mH | 84.0cm | 13.00m | 8.50m | 10.50m | 10台 |
| 女子 | 100mH | 76.2cm | 13.00m | 8.00m | 15.00m | 10台 |
| | 80mH | 76.2cm | 12.00m | 7.50m | 15.50m | 8台 |

6 投てき種目の用具の重量について

男子の砲丸投は5.0kg、女子の砲丸投は2.721kgとする。

7 その他

- (1) スパイクは全天候型トラック用のピンとし、トラックは7mm以下、フィールドは9mm以下を使用すること。また、競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。
- (2) スターターのコールは英語（「オン・ユア・マークス」、「セット」）とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。
- (3) アスリートビブスは、県中体連専門部より通知された番号を使用する。なお、トラックレース出場者は、大会本部から貸与される腰ナンバーを使用し、レース終了後直ちに返却すること。ただし、4×100mRは4走者のみが腰ナンバーカードを使用する。
- (4) ウォーミングアップ場として補助グラウンド（雨天時は多目的屋内施設、スパイク使用不可）を開放する。なお、競技場内におけるスパイク流し程度のアップは認めるが、競技に支障がない時間帯のみとする。
- (5) 投てき種目のウォーミングアップは、安全を考慮して競技場内のサークルを使用する。
- (6) ゴール後の選手の動きについては、スパイクを脱いで屋内通路を使用すること。